

脱原発社会実現に向けて



趣旨：福島原発事故から1年余。いまだにその実態も影響の大きさも不明確な中、野田政権は大飯原発再稼働を打ち出し、人々を不安に駆りたてています。5月現在、54基（廃炉4含む）の全原発が停止状態ですが、これまで安全神話を信じ、危機意識が欠如していたことを痛感した私たちは、福島原発メルトダウンに謙虚に向き合うため、25年前のチェルノブイリ原発事故を検証し、未来世代が安心して暮らすことができる「脱原発社会」を実現したいと考えます。そこで、脱原発政策、廃炉に向けてフォーラムを開催します。ドイツの脱原発政策に大きな影響を与えたと言われるドキュメンタリー映画「第4の革命—エネルギー・デモクラシー」（2010年）も特別上映します。農業・産業・IT革命に次ぐ“第4の革命”とは何か……。

とき■7月21日（土）・22日（日）

ところ■婦選会館 最寄駅：JR線/代々木駅北口、新宿駅南口下車徒歩約7分

道順はセンターHP参照

小田急線/南新宿駅下車徒歩約3分 地下鉄都営新宿線・大江戸線/新宿駅下車徒歩約3分

対象・定員■地方議会議員及びその支援者、テーマに関心のある人（主に女性）約40名（受付先着順）

プログラム■

第1日 7月21日（土）

10:15~10:30 ガイダンス・主催者あいさつ

10:30~12:30 講演「女性の視点で放射能を考える—未来世代のために」

「チェルノブイリ被害調査・救援」女性ネットワーク事務局長 吉田由布子氏

13:30~15:30 講演「まちづくりへの参画—防災・危機管理への取り組み」

関西学院大学教授 室崎益輝氏

15:45~16:55 ディスカッション

17:30~19:00 懇親会（希望者のみ）

第2日 7月22日（日）

09:00~10:30 ドイツドキュメンタリー映画「第4の革命—エネルギー・デモクラシー」上映*

10:30~12:30 講演「原発と放射能災害にどう立ち向かうか—未来ある子どもたちのために」

市民と科学者の内部被曝問題研究会理事 藤原寿和氏

13:30~15:30 講演「国と地域の自然エネルギー促進を考える」

環境エネルギー政策研究所主任研究員 山下紀明氏

15:30~16:00 ディスカッション

参加費■16,000円（懇親会参加費は別途2,000円） 当センター特別維持員の方は懇親会費1,500円

*既に参加費15,000円でご案内済みですが、映画上映のプログラム追加に伴い、資料代を含め1,000円追加させていただきます。映画は再生可能エネルギー転換へのメッセージが込められ、新しい一歩を踏み出すために必見です。

備考▼参加希望者は7月18日（水）までに、①参加費の払込み、②所定の申込用紙の送付をお願いします。

お払込みをもってご参加の受付とさせていただきます。万が一お払込みが遅れる場合はご一報ください。

【振込み先】〒振替 口座番号 00170-0-561022 口座名義 (財)市川房枝記念会女性と政治センター

▼原則2日間通してのお申込みを優先し、席に余裕があれば部分参加もお受けします。

▼納入後の参加費はお返しできません。ご欠席の場合は代理の方にご出席いただけます。

▼お申込み、お問い合わせは下記まで。▼講師の都合などにより変更がある場合はご了承ください。

主催：財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館 〒151-0053

電話 03-3370-0238 FAX 03-5388-4633 E-mail fitikawa@trust.ocn.ne.jp

URL <http://www.ichikawa-fusae.or.jp>